

令和7年度学校評価結果報告

ご回答ありがとうございました。グラフ化した結果をホームページ上で公開します。

ご覧ください。

立花吾孺の森小学校 校長 向井一郎

1. 令和7年度学校評価結果の回答数(%)の状況 回収率 56%

	令和7年度 回答家庭数 175 家庭	A	B	C	D	E
④	教員の授業の工夫わかりやすい指導と学力の向上	55	32	5	1	8
⑤	少人数指導や放課後学習など、個に応じた指導	55	33	2	1	10
⑯	地域や企業など外部人材を活用した教育の推進	49	38	1	0	12
⑦	学習意欲や学習習慣の定着(含タブレット端末活用)	47	42	6	2	3
⑪	明るく楽しい学校生活	62	33	1	3	1
⑫	「あいさつ」「おもいやりの心」の定着	36	52	9	2	1
⑬	健康・安全指導と決まりを守る態度や生活習慣	45	39	11	1	3
⑰	保護者会・学校公開・HP等による広報	62	32	4	0	2
⑧	道徳の時間の充実と心の教育の継続	54	31	3	0	12
⑩	支援を必要とする児童に対する適切な指導	45	28	1	1	25
⑱	学校公開や行事など開かれた学校づくりの努力	68	28	3	0	1
⑭	引き取り訓練や避難訓練等の安全対策	65	31	1	0	3

「A=よい B=おおむねよい C=一部改善が必要 D=改善が必要 E=わからない」

○項目⑦「学習意欲や習慣の定着」についてはタブレット端末の効果的な活用に慣れ、学校、家庭での利用が増えたことで、学習意欲が高まったと考えている。(89%) 全校で6%の家庭で、改善を求める声があることも受け止め、タブレット端末の活用に工夫を加えていくようにする。

○項目⑪との関連として、項目1「授業の工夫、わかりやすい指導」の項目は重要である。授業が分からない、つまらないという状況では、学校生活への意欲は高まらない。そういう視点で項目1の数値を見ると、87%の家庭が肯定的に見てくださっている。この数値がさらに上がるように校内研での研修も重ね、より良い授業づくりに努める。

○【項目⑫】「あいさつ」「思いやりの心」は、本校の教育の要である。A、B合計が88%となっている。項目⑧の「道徳教育」等を通して「心の教育」にさらに力を入れるようにする。

○【項目⑧】「道徳の時間の充実と心の教育の継続」については、A、B合計が85%に若干上がっている。道徳授業地区公開講座の公開だけではなく、日常の道徳の時間を大事にしていきたい。どのような教育を行っているのかは、ホームページ等で公表していくようにする。

○【項目⑱】開かれた学校作りは、地域との結びつきのある方々による授業、さらに、地域教材の開発などに力点を置いたことで数値が96%と向上している。この数年間かけて今日までに築いてきたつながりを基盤として、さらに地域に開かれた学校づくりを目指す。

○【項目⑩】は校内における「特別支援教室」での教育と通常学級での「支援教育」の両観点を含めているつもりである。A、B合計が73.2%である。この項目は肯定的な数値が100%に近づける努力が必要である。すべての子どもが、安心して、楽しく通うことのできる学校であることへの努力を継続する。